

**公表 事業所における自己評価結果 (放課後等デイサービス)**

事業所名 ごえん黒崎

公表日 2025年11月7日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9			・活動や利用児の状況に応じて利用するスペースを分けています	
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2		・法令に基づいた人員の配置をしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			・車いすでも移動できる構造となっています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	1		・月1回ミーティングを行っています。 ・業務上で気になる点が出てきたら、職員間で話し合っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			・保護者の意見に関しては真摯に受け止めて、必要であれば業務改善につなげるよう努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1		・年1回、ホームページに掲載するようにしています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2	1	・必要性を感じた際に、体制を整えていきます。 ・外部受け入れは業務中誰でも入れるようにしています。	・現在のところ、第三者による外部評価は実施していません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			・月1回事業所内での研修は行っています。外部研修の広報も行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		・家族や本人から現状の情報共有をしたり、直接支援者の意向も聞き入れた計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	1		・体力測定や、質問紙法でのアセスメントツールを定期的に行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1		・症例検討と支援会議の2回行っています。	・非常勤職員がいないときもあるため、話のすり合わせを当日の担当者に対してその都度行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1		・子どもの特性や状況に応じたり、リアルタイムな課題に対してプログラムを提供しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	2		・1時間の時間の中で個別支援を行っています。平日や休日などの設定はしていません。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		・基本的に個別プログラムです。場合によっては小集団となることもあります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1		・朝礼時に子どもの状況や変化点を当日の職員全員が把握できるように話し合っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1		・当日の支援内容や状況の振り返り、ヒヤリハットや情報の共有を行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			・行っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			・月1回、出来る限り保護者と話し合いをする場を設けています。情報の共有として、相談支援事業所にも情報の提供を行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	8	1		・ガイドラインに沿って、社会生活を見据えた支援を行えるよう努めています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1		・児発管が参加。必要によっては他職員が同行することもあります。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	1		・学校への送迎は行っていません。学校の行事等は基本的に保護者から聞き取ります。定期的に学校へ児童の見学に行くことがあります。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9			・基本的に保護者の方に相談してもらい、その内容を共有しています。必要時には、医療機関や主治医と連絡をさせてもらうこともあります。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	2		・必要時には相談支援事業所を通じて連絡をすることもあります。 ・協力できる体制は整えています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	4		・必要時や依頼時には相談支援事業所を通して情報共有を行など、協力できる体制は整えています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1		・月1回療育センターからの療育指導を受けるなど連携や助言をしてもらう機会をつくっています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	1	・保護者送迎となっています。兄弟児も一緒に来訪するため、その中で交流をする機会はあります。	・学童などの交流は行っていない状況です。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	5	2	2	・自立支援協議会の運営スタッフが在籍しています。都合のつくときには参加しています。	・研修・会議の時間帯が合わないことがあるため、職員全員は難しい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			・保護者の見学OKです。見学時に子どもの状況や課題について話し合っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8	1		・適時、その場での相談や電話、LINEなどで情報共有を行い、気軽に相談いただける環境づくりを心がけています。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1		・契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担額等について説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			・必要に応じて面談だけでなく、電話やLINE等でも相談を受け付けています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	4		・同じ時間帯の保護者同士には交流できるようになっています。 ・同じ悩みを持つ保護者同士で話す機会を作ることもあります。	・保護者会をしたいとは思っていますが、行動には移せていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		・契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるよう努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		・LINEを使用し、月の利用予定、空き状況等をお伝えしています。 ・保護者等からもらった会報なども一斉LINEでお伝えしたりしています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	9			・個人情報が記載されている書類等は鍵付きの書庫に保管しています。 ・廃棄書類等はゴミ箱ではなくシュレッダーを使用して廃棄しています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			・状態に応じて視覚支援等を用いて情報の伝達を行ったり、意思の疎通ができるよう努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6	3	・商店街の祭りや屋外の散布などを通して地域住民と交流を行うなどはしています。	・事業所行事や地域住民を招待するなどはしていません。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1		・各マニュアルは策定しており、定期的に見直しや研修も行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			・必要回数行っています。保護者も一緒に参加できるような取り組みにもしています。	

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9		3	身体拘束当適正委員会を設置し、指針や規定を整備しマニュアルを作成しています。保護者に対しては「重要事項説明書」に記載し、各々に説明を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	1		・事業所のミーティングで検討し、必要時には部門ミーティング、適正委員会にて検討してもらうようにしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	5	1		・食事の提供は行っていません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	3		・終礼時に聞き取りを行っています。 ・対策検討する機会を設けています。	